



人を想い、  
地球を想う。

# 第101期 中間報告書

平成27年4月1日から平成27年9月30日まで



三ツ星ベルト株式会社

## 引き続き増収増益を達成。 より良い製品を開発・製造し、社会に貢献いたします。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第101期第2四半期連結累計期間の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心から厚くお礼申し上げます。

当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、設備投資が企業の業績改善を背景として緩やかな増加基調にあり、個人消費も底堅く推移したと見られています。海外経済は、米国の景気が緩やかに回復する一方、新興国の景気は中国の景気減速感が一段と強まり、その影響がアジア諸国に波及したこともあって、弱含みで推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心に販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高347億92百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益42億10百万円（前年同期比10.1%増）、経常利益45億58百万円（前年同期比6.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億16百万円（前年同期比8.7%増）となりました。

中間配当につきましては、1株につき9円、支払開始日を平成27年12月3日と決定させていただきました。

今後の企業を取り巻く環境は、海外経済は、米国経済が緩やかな回復傾向にある一方、欧州では不安定要因として、ギリシャ債務問題の動向やロシア経済の停滞があり、また、アジアでは減速感を強める中国の景気がアジアをはじめとする諸国の経済をさらに悪化させるリスクが高まっています。

国内は、生産活動や個人消費、輸出に停滞感があるものの、企業の設備投資意欲には強さもあり、景気は緩やかに回復するとの観測がありますが、中国をはじめとする海外経済に不透明感が強まっていることから、予断を許さない状況が続くと見られています。

このような状況のもとで、当社グループといたしましては、三ツ星ベルトグループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精度、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成27年12月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

中国（蘇州三之星機帯科技有限公司）の工場増強



三ツ星ベルト株式会社は、中国において拡大を続ける自動車産業・一般産業向けの需要に対応するため、現地生産拠点である蘇州三之星機帯科技有限公司の増強をいたします。2016年4月の完成を目標に2015年7月10日第二期工事起工式を開催いたしました。

タイムリーで安定した供給体制を整え、中国国内の旺盛な需要に応えることで同国での売上拡大を目指してまいります。

会 社 名	蘇州三之星機帯科技有限公司 SUZHOU MITSUBOSHI BELTING CO., LTD.
工 場 所 在 地	江蘇省蘇州高新区
総 敷 地 面 積	37,199㎡
第 2 期 建 物	7,290㎡（既設建物 10,575㎡）
投 資 額	約5億円（設備関係を除く）
完 成 予 定	2016年4月（稼働2016年7月予定）

## 連結業績の概況

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高347億92百万円(前年同期比5.6%増)、営業利益42億10百万円(前年同期比10.1%増)、経常利益45億58百万円(前年同期比6.6%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は32億16百万円(前年同期比8.7%増)となりました。

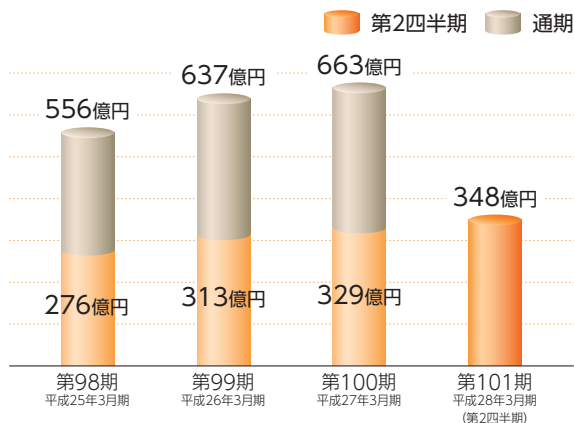
当第2四半期連結会計期間末は、現金及び預金の増加等により流動資産が12億36百万円増加したものの、株価の下

落に伴う投資有価証券の減少等により固定資産が16億93百万円減少したことから、総資産は前連結会計年度末比4億57百万円減少の856億16百万円となりました。

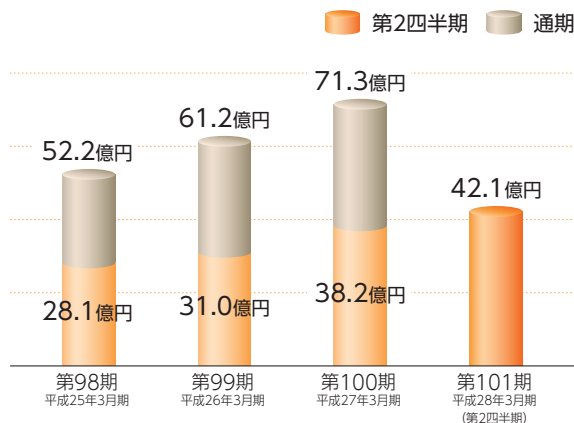
また、負債も、借入金の減少等により、前連結会計年度末比10億94百万円減少の245億65百万円となりました。

純資産は、株価の下落及び為替の影響により、その他の包括利益累計額が18億1百万円減少したものの、親会社株主に帰属

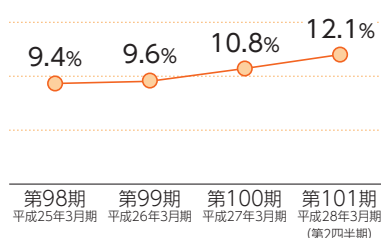
### 売上高



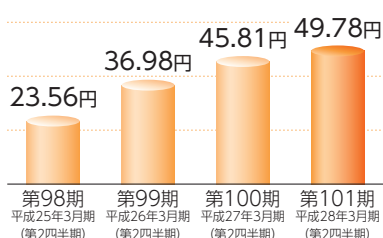
### 営業利益



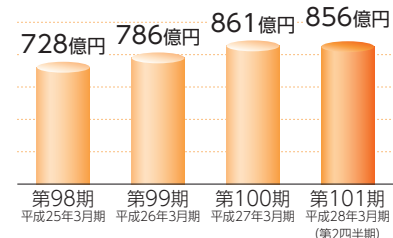
### 営業利益率



### 1株当たり四半期純利益

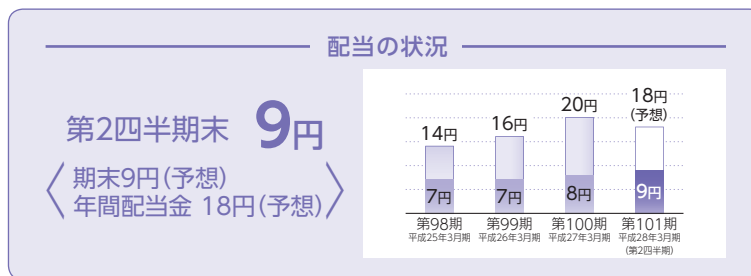


### 総資産

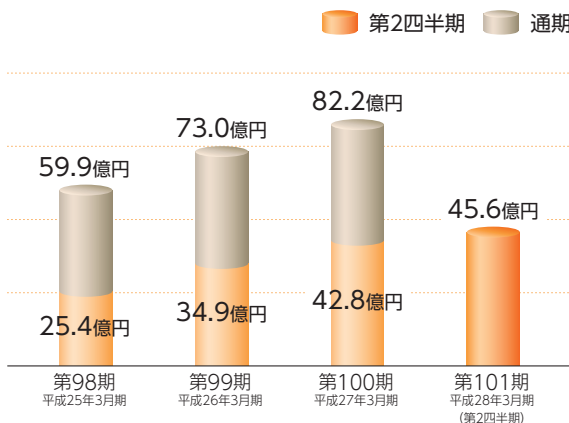


する四半期純利益の計上等により利益剰余金が24億41百万円増加した結果、前連結会計年度末比6億36百万円増加の610億500百万円となりました。

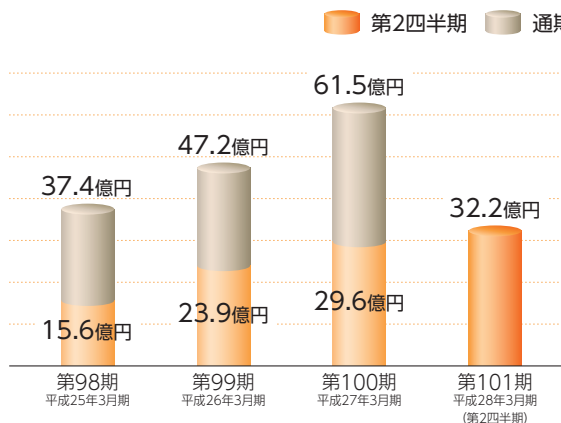
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の70.2%から71.3%に上昇しました。



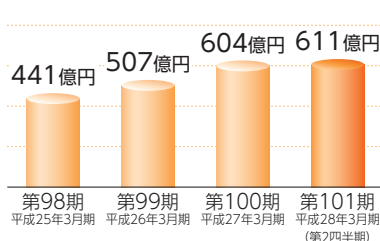
▶ 経常利益



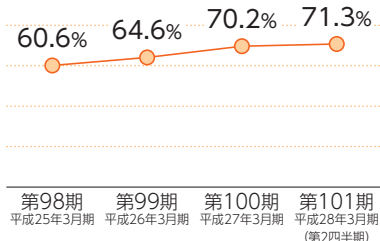
▶ 親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



▶ 純資産



▶ 自己資本比率



**平成28年3月期連結業績予想**

売上高	670億円
営業利益	67億円
経常利益	65億円
親会社株主に帰属する当期純利益	46億円

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としており、前連結会計年度までの四半期(当期)純利益についても科目名を統一しております。

## 事業部門別状況

事業区分	売上高構成比	
<p><b>国内ベルト事業</b></p> <p>売上高 <b>136億23</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>35億72</b>百万円</p>	<p>39.2%</p>	<p>節電の切り札 省エネVベルト「ULTRA e-POWER」</p>
<p><b>海外ベルト事業</b></p> <p>売上高 <b>164億50</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>17億19</b>百万円</p>	<p>47.3%</p>	<p>高負荷駆動用タイミングベルトの最上位グレード「ギガトルクGXタイミングベルト」</p>
<p><b>建設資材事業</b></p> <p>売上高 <b>25億12</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>42</b>百万円</p>	<p>7.2%</p>	<p>環境保全に貢献する「土木遮水シート」</p>
<p><b>その他</b></p> <p>売上高 <b>22億6</b>百万円</p> <p>営業利益 <b>71</b>百万円</p>	<p>6.3%</p>	<p>「銀ナノ粒子ペースト」で印刷されたフィルム基板</p>



## 概況

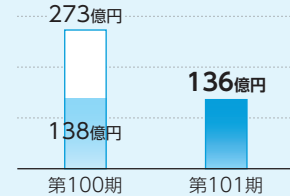
自動車用ベルトは、軽自動車税引き上げの影響があったものの、メーカーの新型車種投入効果により、組み込みライン用の売上高は前年同期並みとなりました。補修用ベルトは車検交換需要が減少傾向にあることから売上高が減少しました。

一般産業用ベルトは、天候の影響により農業用の売上高が減少しましたが、節電効果のあるベルトや、射出成型機向けの需要が増加したことなどから、前年同期並みの売上高となりました。また、OA機器用ベルトは、円安によるユーザの国内調達動きも見られましたが、海外現地調達化の流れが継続していることから、国内の売上高は微減となりました。

一方、運搬ベルトは食品業界向けの需要が好調に推移するとともに、合成樹脂素材も企業の設備投資の回復に伴って売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は136億23百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は35億72百万円（前年同期比7.1%増）となりました。

## 売上高の推移

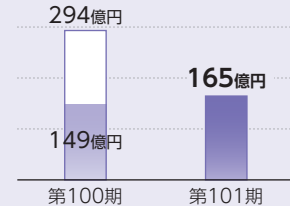


欧州では、ロシア経済停滞の影響を受けたことや欧州通貨安の影響などから、売上高が減少しました。

米国では、景気回復の影響により自動車用ベルトの売上高は好調に推移し、一般産業用ベルトもタイミングベルトの拡販活動の効果により売上高が増加しました。

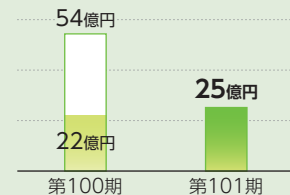
アジアでは、自動車用ベルトは東南アジア諸国において自動車販売が低調であったことから、売上高が減少しましたが、為替の円安影響により邦貨では前年同期並みにとどまりました。一般産業用ベルトは中国において農業機械向けや金融端末向けの売上高が増加し、OA機器用ベルトも日系ユーザの現地調達需要の増加に伴い、売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は164億50百万円（前年同期比11.1%増）、営業利益は17億19百万円（前年同期比16.2%増）となりました。



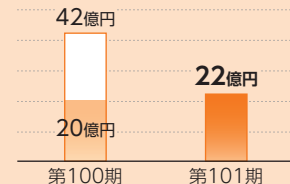
建築部門は企業の建設投資の増加に伴い、改修工事物件の売上高が増加しました。土木部門では廃棄物処分場関連の売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は25億12百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は42百万円（前年同期比45.5%減）となりました。



その他には、エンジニアリング ストラクチャル フォーム、ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は22億6百万円（前年同期比7.8%増）、営業利益は71百万円（前年同期比117.8%増）となりました。



# 四半期連結財務諸表

## 四半期連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

### Point 1 流動資産

流動資産は、現金及び預金が10億60百万円増加したことなどにより、前期末に比べて12億36百万円増加しました。

### Point 2 固定資産

固定資産は、株価の下落に伴う投資有価証券の減少等により、前期末に比べて16億93百万円減少しました。

### Point 3 純資産

純資産は、株価の下落及び為替の影響により、その他の包括利益累計額が18億1百万円減少したものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により、利益剰余金が24億41百万円増加したため、前期末に比べて6億36百万円増加しました。以上の結果、自己資本比率は前期末と比較して1.1ポイント上昇して71.3%となりました。

科目	前期末 平成27年3月31日現在	当第2四半期末 平成27年9月30日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	50,302	51,538
現金及び預金	18,956	20,016
受取手形及び売掛金	14,802	15,494
その他	16,543	16,026
<b>固定資産</b>	35,771	34,078
有形固定資産	21,533	21,163
無形固定資産	77	75
投資その他の資産	14,160	12,839
<b>資産合計</b>	<b>86,073</b>	<b>85,616</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	17,857	17,486
<b>固定負債</b>	7,802	7,079
<b>負債合計</b>	<b>25,659</b>	<b>24,565</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	50,966	53,404
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	3,927	3,927
利益剰余金	40,756	43,197
自己株式	△ 1,867	△ 1,870
<b>その他の包括利益累計額</b>	9,447	7,646
<b>純資産合計</b>	<b>60,414</b>	<b>61,050</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>86,073</b>	<b>85,616</b>

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



## 四半期連結損益計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
<b>売上高</b>	<b>32,936</b>	<b>34,792</b>
売上原価	22,553	23,769
販売費及び一般管理費	6,559	6,811
<b>営業利益</b>	<b>3,823</b>	<b>4,210</b>
営業外収益	602	547
営業外費用	149	199
<b>経常利益</b>	<b>4,276</b>	<b>4,558</b>
<b>税金等調整前四半期純利益</b>	<b>4,276</b>	<b>4,558</b>
法人税等	1,316	1,342
<b>四半期純利益</b>	<b>2,959</b>	<b>3,216</b>
<b>親会社株主に帰属する四半期純利益</b>	<b>2,959</b>	<b>3,216</b>

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

※「企業結合に関する会計基準」等を適用し、当第2四半期連結累計期間より、「少数株主損益調整前四半期純利益」を「四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としており、前第2四半期連結累計期間についても科目名を統一しております。

## ▶ Point 4 売上高

売上高は、前年同期に比べて18億56百万円増加し、347億92百万円となりました。

## ▶ Point 5 営業利益

営業利益は、前年同期に比べて3億87百万円増加の42億10百万円となりました。営業利益率は、10%以上を達成しております。

## ▶ Point 6 親会社株主に帰属する四半期純利益

親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金等調整前四半期純利益が2億82百万円増加したことなどにより、前年同期に比べて2億57百万円増加の32億16百万円となりました。

## ▶ Point 7 四半期連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて1億79百万円減少の41億98百万円の収入となりました。主な要因は、前年同期に比べて税金等調整前四半期純利益が2億82百万円増加したことに加えて、たな卸資産の増減額が3億42百万円減少したものの、売上債権の増減額が13億80百万円増加したことによるものです。

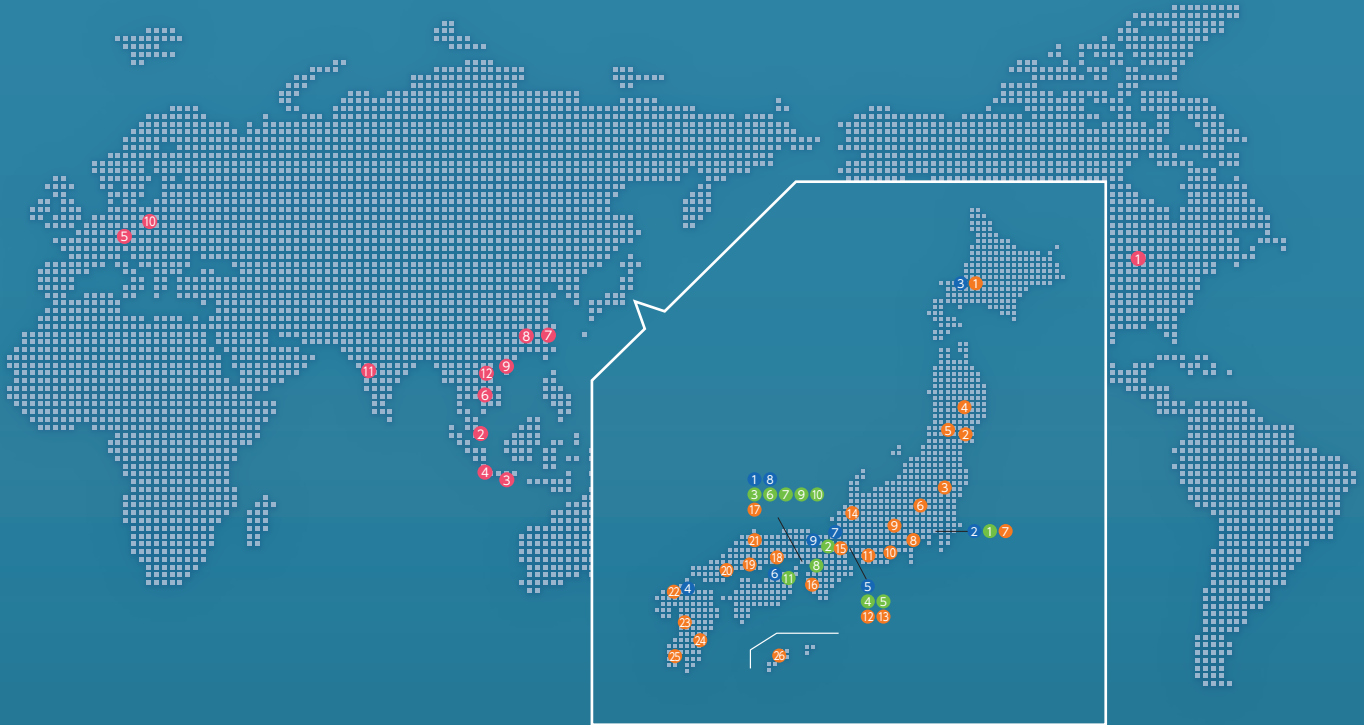
一方、財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期に比べて10億20百万円増加の15億57百万円の支出となりました。主な要因は、短期借入金の純増減額が6億73百万円増加したことに加えて、長期借入金の返済による支出が4億95百万円減少したことによるものです。

## 四半期連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位:百万円)

科目	前第2四半期(累計) 平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで	当第2四半期(累計) 平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,377	4,198
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,223	△ 1,805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,577	△ 1,557
現金及び現金同等物に係る換算差額	484	△ 228
現金及び現金同等物の増加額	1,060	607
現金及び現金同等物の期首残高	14,740	17,979
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,800	18,586

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



### 国内の生産・販売拠点

#### 三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

#### 三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンペヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑩ エムエムコート(株)
- ⑪ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

#### 三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 粟東営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

### 海外の生産・販売拠点

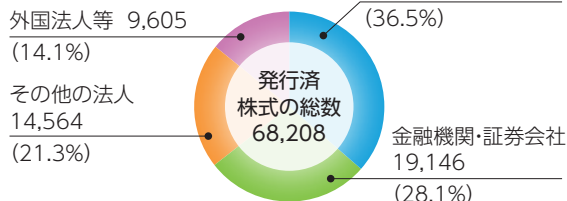
- ① MBL(USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ PT. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ Stars Technologies Industrial Limited
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ Mitsuboshi Belting VIETNAM Co., Ltd.

## 株式の概況 (平成27年9月30日現在)

### 1. 株式

- ◇ 発行可能株式総数 325,213,000株
- ◇ 発行済株式の総数 68,208,397株
- ◇ 株主数 5,513名

### ◇ 所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式3,609千株が含まれています。

## 会社の概要 (平成27年9月30日現在)

- ◇ 商号 ミツ星ベルト株式会社  
Mitsuboshi Belting Ltd.
- ◇ 創業 大正8年10月10日
- ◇ 設立 昭和7年10月10日
- ◇ 資本金 81億5,025万1,031円
- ◇ 従業員数 717名
- ◇ 営業品目
  - ベルト V型ベルト、歯付ベルト、伝動機器・装置、運搬ベルト及び装置、ポリウレタン製工業用品、合成樹脂素材、その他ベルト
  - 建設資材 建築用防水シート、土木用遮水シート
  - その他 エンジニアリング ストラクチャル フォーム、その他

- ◇ 事業場
  - 神戸本社 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
  - 東京本社 東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
  - 札幌営業所 札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
  - 福岡営業所 福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
  - 名古屋工場 愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
  - 四国工場 香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
  - 滋賀工場 滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
  - 神戸事業所 神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
  - 綾部事業所 京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

### 2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	5,558,000	8.15
トヨタ自動車株式会社	2,355,125	3.45
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340,550	3.43
小田田 欽造	2,070,000	3.03
西松建設株式会社	2,000,000	2.93
星友持株会	1,980,870	2.90
三ツ星ベルト社員持株会	1,553,130	2.28
三井物産株式会社	1,500,000	2.20
東京海上日動火災保険株式会社	1,376,804	2.02
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,372,164	2.01

(注) 上記のほか当社所有の自己株式3,609,176株があります。

## 役員 (平成27年9月30日現在)

代表取締役 会長	西河 紀 男	常務執行役員	黒野 正 治
取締役 副会長	喜田 宏	常務執行役員	對川 芳 憲
代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内 一	常務執行役員	熊野 格 夫
取締役兼 常務執行役員	山口 良 雄	執行役員	竹中 昌 弘
取締役兼 常務執行役員	中嶋 正 仁	執行役員	佐々木 孝
取締役兼 常務執行役員	小田 芳 裕	執行役員	増田 健 吉
取締役兼 常務執行役員	片山 孝	執行役員	西河 俊 伸
取締役	宇佐美 貴 史	執行役員	池田 浩
取締役	宮尾 龍 蔵	執行役員	陳 振 耀
監査役 (常勤)	井ノ口 正 弘	執行役員	伊藤 辰 雄
監査役	奥島 吉 雄	執行役員	森野 峰 雄
監査役	橋本 正 幸	執行役員	又場 敬 司
監査役	大久保 裕 晴		

(注) 1. 取締役宇佐美貴史及び宮尾龍蔵の両氏は、社外取締役です。  
2. 監査役橋本正幸及び大久保裕晴の両氏は、社外監査役です。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

## 株主メモ

- ◇ 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- ◇ 定時株主総会 6月
- ◇ 単元株式数 1,000株
- ◇ 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- ◇ 上場金融商品取引所 東京
- ◇ 株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話(通話料無料)0120-094-777
- ◇ 公 告 方 法 電子公告により行う。  
公告掲載ホームページは、[http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi\\_koukoku/index.html](http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.html)に掲載しております。  
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

[www.mitsuboshi.co.jp](http://www.mitsuboshi.co.jp)

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。